

◇ 除害施設を活用して再生水施設を整備 ◇

鉄鋼ビルディング

利用方式：個別循環方式＋雨水利用方式

活用用途

水洗トイレ洗浄水：ホテルを除く全館（再生水）

植栽灌水：外構植栽、散策路など（雨水）

概要

- ・2015年に建替えられたオフィスビル。
- ・建替えにあたり、除害施設の有効活用を考慮し、雑排水、厨房排水、雨水、空調排水等を原水とする水再生設備を整備。

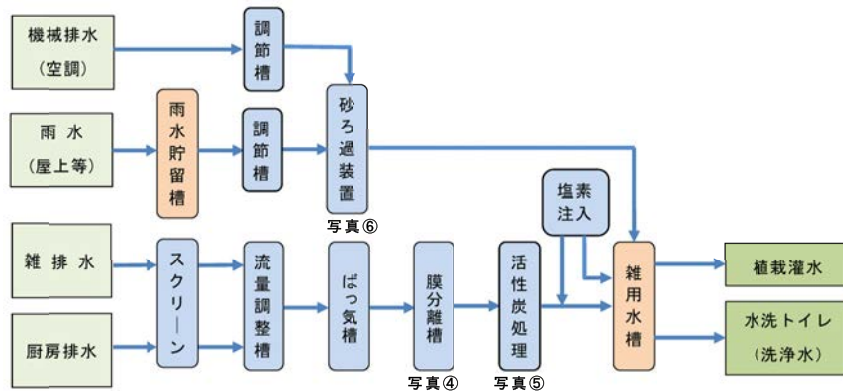
導入効果

- ・上水道使用量を削減している（約50%）
- ・散策路等は憩いの場となっている。

雑用水活用フロー

雨水、冷却水ブロー排水及び空調加湿水はろ過装置、厨房排水及び雑排水は膜分離法で処理している。いずれも処理後に塩素注入を行って雑用水槽に貯蔵している。低層階には加圧ポンプによる圧送、高層階は高架水槽に給水している。

余剰雨水や余剰ドレン水は湧水槽を通じて放流している。



<施設管理者の声>

空調排水など、できるだけ多くの水を再生・活用している。

設備等の状況



写真① 施設の外観



写真② 外構部の散策路
散策路など外構部の植栽の灌水にも、雑用水を使用している。



写真③ テラスの
ルーフトレンドレン
屋上だけでなく、テラス等ビルの各所から、雨水の集水を行っている。



写真④ 膜分離槽

地下ピット内の膜分離槽で、厨房排水、雑排水を処理している。



写真⑤ 活性炭処理槽

処理水の着色を除去する目的で活性炭処理を行っている。



写真⑥ ろ過装置

雨水や空調ドレン排水はろ過装置で微細浮遊物の処理を行っている。

施設の諸元

施設の用途	事務所、病院（医院）、店舗、ホテル、飲食店		
施設の構造	地上26階、地下3階（高さ131.77m）		
敷地面積（m ² ）	7,399.67	竣工年	2015年
延べ床面積（m ² ）	117,963.70	施設設置場所	地下3階
再生水	原水種類	商業施設の厨房排水、オフィスの雑排水	
	処理方式	膜分離、活性炭、塩素殺菌	
雨水	処理方式	ろ過装置、塩素殺菌	
	集水面積	－（全館ルーフトレンドレン、雨水枙）	
	雨水貯留槽容量	500 m ³	
	雑用水貯留槽容量	263 m ³	
	補給水量	25,240 m ³ /年（上水道）	
	雑用系用途年間利用量	40,837 m ³ /年	